

もっと活用 支援室！ ＜情報収集編＞

◎使える情報が揃っています！

まちづくり支援室では、様々な情報を収集・提供しています。

- 1) 登録団体の情報
- 2) 団体運営やマネジメント、会計、広報、会議の進め方など
- 3) 志免町の総合計画書や報告書など

また、日々更新される助成金や補助金、NPO・ボランティアに関する情報の見つけ方や活用方法についてのご相談もお気軽にどうぞ！

まちづくり支援室の動き

「協働のまちづくり推進」のためには、住民活動団体や行政、企業など多種多様な主体が、まちの地域課題の解決に向け取り組むことができる環境づくりが重要です。まちづくり支援室では、住民活動団体の支援を基本としながら、その「環境づくり」にも取り組んでいます。

今年度から始めた「住民活動に関わる担当課職員との情報交換会」もそのひとつです。住民活動支援に関わる担当課職員に加え、社会福祉協議会のボランティア担当者も参加しています。

利用者の声

普段から活動のヒントがないかアンテナを張っています。図書館の帰りなど時間がある時に支援室に立ち寄り、職員さんや来館者と情報交換しています。

特に他の登録団体さんの情報(企画や広報物など)は勉強になりますし、支援室を通して、知り合った団体とコラボイベントを企画もできました。(Kさん)

それぞれが担う事業や業務、日頃の活動者との関わりについて、情報交換を通して、活動に対する認識や支援のあり方などを相互に考える機会となりました。



参加者からは、「日頃連携がとりにくい状況の中で、情報交換できたことは有意義でした。」というコメントがありました。このような場を創出していくことで、まちづくり支援室は「協働のまちづくり推進」に貢献しています。

まちづくり支援室は、住民活動を支援し、志免町と町民の皆さんが協働のまちづくりをすすめるために設置された施設です。専門のコーディネーターを配置し、NPOやボランティアに関する情報を発信するとともに住民活動に関する相談やアドバイスをを行っています。



■支援室からのお知らせ

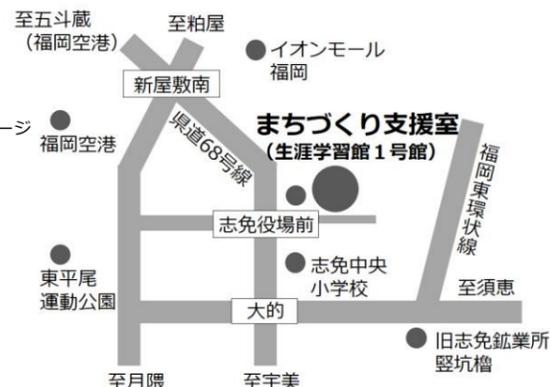
- ①H30年度協働事業提案制度受付がスタート。
1月25日(木)～2月9日(金)の【協働サポート週間】では、協働に関するあれこれを職員がお手伝いします！
- ②1月23日(火)にNPO・ボランティア団体の活動評価に関する勉強会を開催します。

★次号<Vol.17>は2018年3月発行予定です。

- 発行 志免町まちづくり支援室
- 発行日 平成29年(2017年)12月31日
- 編集 NPO法人ミディエイド
- 住所 〒811-2244
福岡県糟屋郡志免町志免中央1-3-2(生涯学習1号館内)
- TEL 092-936-8626
- FAX 092-936-8626
- E-mail collabo@town.shime.fukuoka.jp
- 開室時間 9:00～17:00(火曜・木曜・土曜)
9:00～21:00(水曜・金曜)



▲公式ホームページ



The 志免町まちづくり支援室

2017.12.31

Vol.16

レポート

団体のことを1分間で伝えてみましょう！

広報講座を開催しました！

10月24日(火)にボランティア団体向け広報講座を開催しました。平日夜間の開催を試みたところ、登録団体メンバーを中心に予想を上回る14名が参加し、広報の基礎と団体紹介の文章作りについて学びました。

「広報」というと、テレビCMやポスター・チラシ、派手な看板など、注目を集め、広く認知させることだと思われがちですが、NPOやボランティア団体が行う「広報」で特に大切なのは、団体の活動や社会課題についての理解やその先にある「共感」を生み出すことです。

■「広報」の重要ポイントは？

NPOやボランティア団体が行う広報は、①イベントの周知や集客、②メンバーや会員の募集、③支援の呼びかけ、④他の組織への協力依頼、⑤協賛や助成の申請などが挙げられます。

ここで重要なポイントは、「誰に何を伝えるのか？」です。相手が共感し、相手の意識や行動が変化する(社会課題について関心を持つ、メンバーやボランティアとして活動に関わる、イベントに参加する、寄付するなど)ように、情報を整理し、対象者に届く言葉や表現で明確に伝えましょう。

■団体紹介の文章をコンパクトに作成！

講座では、伝える方法として誰もが使う「言葉」に着目。「団体のことを1分間で伝えることがで

<本号の内容>

- ★【レポート】広報講座
- ★【活動ポイント】商品を通して人と、社会をつなぐ
- ★【もっと活用 支援室!】-情報収集編- ほか



きるか?」を切り口に、座学と実践を通して90分間しっかりと学びました。参加者は、ガイドに沿って団体紹介の文章を作成しました。さらにグループで発表したことで、大変盛り上がりました。

参加者からは、「作文が苦手な私でもすらすら紹介文が書いて楽しかった」「団体が何を目的としているのか?文章にまとめることで見直す機会となりました」などの感想が寄せられました。

■サポート週間でさらにフォロー!

後日企画した「広報物サポート週間」では、チラシと作る際のパソコン操作、会報誌発行スケジュールの立て方、活動紹介チラシ作成などの相談が寄せられました。「誰に何を伝えるための広報か?」を意識して、アドバイスや情報整理などを行いました。

団体広報に関するご相談は、これからも随時受け付けます。お悩みに合わせて対応しますので、お気軽にご利用ください。



パソコン作業もちょっとしたアドバイスでよりスムーズに!